

予定では園庭の遊具がきれいに塗装され、砂場やトリムの丘にも砂や土が運び込まれたことで、子どもたちが今まで以上にダイナミックな遊びが展開されたり、砂や水を使って創意工夫する姿が見られるはずでしたが、先月は雨天のためペンキ塗りなどを行うことが出来ませんでした。そこで、急ではありますが6月6日9時半より「園庭整備」ボランティアを再募集しますので、お手伝い可能な保護者の方は事務所までお声掛けください。園庭では子どもたちが育てている野菜も順調に生長していますし、キウイやヤマモモが実りはじめ、アリやダンゴムシだけでなく様々な生き物たちも保育園に遊びに来てくれるようになっています。保育園が最も多様性に溢れ、子どもたちの好奇心が高まる季節が始まります。

梅ジュースが美味しくなりますように！

今年も舞岡のかねこふぁ～むで10キロの梅もぎを行いました。6月中旬には梅シロップが完成します。みんなで試飲した後は毎年恒例となってきた子どもたちが大好きな梅ジュース屋さんを開催しますので是非お付き合ってください。昨年から大切にしている「自分が行動したことで」何か“が変わる体験”は人とのかかわりを学ぶだけでなく様々な教育効果があります。マイパブリック屋台を使った本格的なお店屋さんごっこを一緒にお楽しみください。

叱るって難しい

子どもとのかかわりの中で何故、大人は「叱る」という行為を行うのでしょうか？結論から言えば『相手にネガティブな感情を与え、子どもを変えたり、コントロールする手段』として私たち大人は「叱る」を活用しています。でも、その効果を科学的に考察するとどうなるのでしょうか？子どもだけでなく大人も「叱られる」と脳の中ではfight or flight 反応という防御システムが働きだします。具体的に言うならば「闘うか、逃げる」という状態になりますが、大人との関係で考えるならば 子どもたちは「叱られている状態からどのように逃げるか」しか考えられなくなっているということです。また、低年齢児では前頭葉の働きが押し下げられるので叱ることで子どもが何かを学ぶことは期待できません。

さらに大人が気をつけねばならないことは「叱る依存」という現象です。子どもの行為を「叱る」ことで「間違いを正した」という快のドーパミンが出てきたり、自己効力感が高まったりするようで、そうすると「叱る」の連鎖が止まらなくなってきます。そして、叱ってしまった自分を責めてしまうという「セルフ依存」という状態に陥ったりもします。くらき永田保育園の保育士たちには「行為は認められないけれど、子どもの想いは理解する」を基本的なかわりのスタンスとして考えています。怒ったり、叱ったりせず、諭したり、説明してお互いが理解しあえることは理想ですが、大人のネガティブな感情をぶつけることは少しでも無くしていきたいと思います。

各クラスの『素材を使った遊び』をお伝えします！



にこにこ



室内に2種類の感触遊びを取り入れたので紹介します。まず初めに「センサリーバック」です。これは、ジップロックの中に保冷剤とビーズなどの具材が入ったもので、冷蔵庫で冷やした物を子どもたちに見せると、初めは恐る恐る触っている様子が見られましたが「冷たくて気持ちいいね」「中に何か入ってるね」などと保育士が声を掛けると手を伸ばして触り始め、持ってみたり叩いてみたりする様子が見られました。まだ“これはなんだろう？”という反応が多かったです。何度も遊んでいくうちに中に入っているものにも気付いてくれると嬉しいです。次に「感触板」です。ダンボールに2種類の大きいビーズを付け、移動させたり引っ張ったりできます。子どもたちは、ビーズを舐めたりつまんでみたり、叩いてみたりと真剣な様子で遊んでいます。

今後も様々な素材で感触遊びをしていき、五感を刺激したり探究心が育まれたらいいなと思います。



よちよち



乳児の森の「土や草花」を使った遊びを楽しんでいる様子をご紹介します。カラスノエンドウのサヤやコバンソウを探して夢中に摘み取り「みてー」「はい」と保育士に見せてくれたり、「おいでー」と友だちを誘って探しに行っています。お気に入りの草花を見つけると手に取ってじっくり観察したり潰してみたりもしていました。また、身体や顔に土をつけながらも土を素材にした遊びを楽しむ子もいます。手やブラシで土を広げたり、土を掘ってお皿からお皿に移し替えたり、土や草や実をお皿の中に入れて混ぜたりしています。お皿をひっくり返して土を落とすことも楽しい遊びです。雨の後はぬかるんだ泥の上を慎重に時には保育士の手を取って踏んでみる子もいます。いつもと違う地面に足を踏み入れるドキドキした気持ちが繋いだ手からも伝わってきます。季節の変化で乳児の森も変化していきます。緑色から赤く色づいたグミやユスラウメを、子どもたちがどのように素材として遊んでくれるのか今から楽しみです。





すくすく



子どもたちの遊びにはどんなものがあるかを考えた時、玩具の他にも様々な素材に触れる事も大切にしたいと考えています。例えば『紙』という素材をとっても、やわらかい、固い、ざらざらしている、ふわふわしている等、様々な感触のものがあり、子どもたちが触れながら遊びが広がっていくといいなと思っています。

すくすく組では4月より、子どもたちとシール貼り遊びを楽しんできました。電車や木の実のイラストを印刷したコピー用紙を用意すると、「でんしゃがいい」「これにする」と自分で絵柄を選び、車輪や木の実に合わせてシールを貼るなど、目的をもって遊ぶ姿も見られました。子どもたちがシール貼りを楽しんでいる姿から、トイレットペーパーの芯を用意してシールを貼るのはどうかと思い、遊びを展開していきました。トイレットペーパーの芯は子どもたちに手渡すと「これみたことある」と話したり、覗き込んで望遠鏡のようにして笑い合ったり、転がしてみたり、興味津々な様子がたくさん見られています。その後、保育士が画用紙に両面テープを貼って作ったシールを手渡すと「これシール？」と言ってすぐにトイレットペーパーの芯に貼り付ける遊びが始まりました。「ピンクがいい」「まるにする」と好きな色や形のシールを選んでたくさん貼って遊んでいます。出来た作品は今後保育室に飾って、みんなで眺めて楽しむ事もしていきたいと思っています。

これからも身近な素材を中心に遊びに取り入れ、子どもたちが自分の体験として感じられる経験を増やしていきます。



異年齢



園庭には様々な遊具がある中、ひっそりと人気なのは平均台。ビールケースや椅子に片側を上げて斜面を作り出し、小石やドングリを並べたら競争の始まりです！なぜ、ベンチではなく平均台を使うのか不思議に思いながら見守っていると、しっかりとコースになっていました。溝に合わせて「いくよー！」と手を離し、「こっちのほうが速かった！」とどれが速いのかを見比べている様子がありました。繰り返し遊んでいく中で、平均台の角度を変えてみたり、他に転がせるものがないかを探してみたり、〈斜面〉と〈転がすもの〉という二つの素材への関心を深め続けています。

この遊びは、いきいき組が去年から始めたのですが、その様子を見ていたのびのび組とわくわく組の子どもたちも興味津々。しかし、どれを転がしていいのか分からずにいると「これ転がしてみるといいよ」といきいき組の子どもたちがアドバイスしていました。

いろいろな友だちと一緒に遊んでいく中で、転がすものが変わっていき、お気に入りの小物を自分の袋に入れて持ち歩いて遊ぶ子どもたち。まだまだレースに終わりはなく、今後は何を転がしどんな斜面のコースを作っていくのか楽しみです！



給食室

気候も暖かくなり湿気も多いこの時期は、菌やウイルスの増殖に適した季節となります。抵抗力の弱い乳幼児では重症化する恐れもある食中毒。以下の3つの決まりで予防しましょう！

- ① 菌をつけない！
しっかり手洗いをして調理器具は殺菌する。
- ② 菌を増やさない！
野菜やお肉は新鮮なものを選び、作った料理はなるべく早く食べきる。
- ③ 菌をやっつける！
料理はしっかり中まで火を通す。

保育園でも給食を食べる人の安全を守るために、この3つに注意しながら毎日給食を作っています。

5月も給食室に興味津々な子どもたち。給食の時間に食堂に行くと「どうして先生が作るご飯はおいしいの？」と、なんとも嬉しい質問をしてくれた子がいました。今後も子どもたちに“おいしい・食に対するワクワク”を届けていきたいです。



食育係より



今年度も各クラスで様々な野菜を植えました。苗を植える時には、葉っぱを触り感触を確かめたり、匂いを嗅いでみたりと大きい苗に興味津々でした。収穫に向けて、水やりをする時には、「大きくなあれ!」と苗に声を掛け大きくなるのを楽しみにしています。園庭とテラスの間にネットを掛けて異年齢とすくすく組がヘチマと一緒に育てることになりました。いきいき組の子どもたちがヘチマを植えるすくすく組のお手伝いをする際は「お助け隊だー!」と張り切って苗植えを子どもたちの前で見せてくれました。園庭からテラスにツタが伸び、緑のカーテンになるのを皆さんも楽しみにしててくださいね。育てた野菜は、それぞれのクラスでクッキングをして食べたり、感触を楽しんだり、『食』や『遊び』の素材として活用していきます。また、育てている様子はブログなどでも発信していきます。ご家庭でも保育園と一緒に野菜を育てていってもらえると家庭と保育園で連動した体験が出来ると思いますので、ぜひ試してみてください。

また、5月19日には6月にいきいき組がじゃがいもを収穫させていただく小川農園さんに見学してきました。農園では様々な野菜を育てており、園で行っている植育活動に役立つ野菜の育て方などを教えていただき、職員も多くの学びを得ることができました。子どもたちと育てる野菜をただ育てるだけではなく、たくさん収穫できるように子どもたちとも楽しんで様子を見守っていきたいと思います。



今月の行事

- | | |
|--------|------------------------|
| 8日(土) | 布団乾燥 |
| 10日(月) | 総合防災訓練 |
| 12日(水) | いきいき組 公園苗植え |
| 13日(木) | 歯科検診① |
| 14日(金) | 尿検査一次回収日 |
| 15日(土) | トイ活 |
| 20日(木) | 久保先生のわらべうた |
| 21日(金) | いきいき組 みなっち公園交流(清水ヶ丘公園) |
| 25日(火) | プール開き |
| 29日(土) | にこにこ・よちよち組 ふれあいデー |